

# 『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』を読んだことのある10代～50代の男女23名
調査期間	2025年10月15日～2025年10月16日 2025年11月4日 2025年11月20日 2025年12月3日 2025年12月31日 2026年1月14日 2026年2月4日 2026年2月18日 2026年3月4日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kari-somenotigiri/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/kari-somenotigiri/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	3人
30代女性	1人

40代男性	3人
40代女性	1人
50代男性	15人
50代女性	0人

Q2:『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』の感想を教えてください。

『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』1話～5話	序盤から主人公である絢子をとことん追い詰める展開があり、この作品の厳しい世界観がすぐに伝わってきました。家族までもが敵対してしまう環境の中で、絢子が必死に生きていく姿を見ると、こちら応援したい気持ちがどんどん大きくなりました。そんな中、とある伯爵との出会いによって絢子の運命が変わりそうな展開を匂わせるので、さらに続きが気になりました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』1話～5話	第1話を読んで、絢子の境遇に心が痛くなりました。両親に遺産目当ての愛もない結婚を押し付けられて、夫の死後に巨額な借金を背負わされるのは辛かった。社会的な立場を失って、母親には勘当帰る場所もなくなる描写がとても切実です。使用人として働き始める場面では、屈辱と希望が入り混じる感情にぐっと引き込まれました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』1話～5話	本郷に騙されたような気がしました。というのも絢子との結婚生活に違和感を覚えたんですよね。そういう対象として絢子を見ていた割には、あまりにもあっさり引き下がりすぎていましたから。多額の支度金まで用意したのです。絢子の反応が気に入らなかったとしても、一夜限りで終わるなんて普通はありません。本郷からすれば、絢子との結婚生活を続ける意味はなかったのに、なぜ続けたのか。それは絢子の名前を使って借金をするためだったのです。本当にやられたなと感じました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』6話～10話	カツカツの実家を救うために、大きく年の離れた頭取と結婚させられるも、あっという間に亡くなってしまった挙げ句、膨大な借金まで背負わされた絢子が、女学校時代の友人からの紹介で働き先が見つかるも、悪い噂のせいで壮絶な嫌がらせにあっているところを、雄一郎がお達しという形で一蹴させるところにキュンと来ました。しかも、絢子には以前会ったことがあったことは知らせずに、あくまで仮初の契約として結婚を提案するある意味不器用さに、希望と大逆転する未来が見えた気がしました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』6話～10話	女の嫉妬心って恐ろしいですね。とはいえ、恋人を取られたわけでもなく、ともに使用人でありながらご主人様にちょっと自分よりも気にかけてもらっただけ。千代はなぜここまでひどいことをするのか。そしてヒロインもただ黙っているだけではない。反論する姿を見ると、もっと頑張れと思いました。というよりも雄一郎こそ頑張れ。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』6話～10話	嫌がらせに対して腹が立ちました。ちょっと気に入らなただけで、なぜここまでひどいことができるのか理解できません。本当に、こういうことはなくなってほしいです。気になったのは雄一郎と絢子の関係です。絢子は雄一郎のことを知らないようですが、雄一郎の方はそうではない様子。回想シーンに絢子が登場していましたし、嫌がらせを止めようとするほどなので、何かしらのつながりがあったのだと思います。二人の過去に何があったのか、とても気になりました。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』11話～15話	本当に千代は華族様が憎くて仕方がない様子ですね。あたりがめっちゃくちゃ強い感じで見ているイライラが募りますね。でも一方でこういうキャラは物語に一人はいて欲しいという気持ちもあり俄然目が離せないことは確かです。嫌がらせの質が本当に陰湿で胸が苦しくなってきますが、それに打ち勝つ絢子の姿も見たいというのがこの作品の面白さですね。
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』11話～15話	急な展開に驚いています。雄一郎が絢子のことを気にかけていたのは理解していましたが、それでも使用人になって間もない絢子に求婚するとは思いませんでした。ほとんど接点がないため、絢子がどんな女性なのかよくわかりません。それにもかかわらず求婚するその行動力には驚かされました。気特に気になったのは、雄一郎と絢子が外出した場面です。何気なく食べていたアイスクリンでしたが、雄一郎の様子に違和感を感じました。もしかすると、幼い頃に二人で一緒にアイスクリンを食べたことがあるのかもしれないですね。

『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』16話 ～20話	この作品は本当に絢子に対してみんな厳しすぎます。元華族だからという理由以外の何かがあるような気がして、すごく気持ちが苛まれそうです。そんな時、新たな使用人の子がやってきて物語がさらに面白くなっていくので注目ですね。最初はいい人そうな雰囲気装っていても結局うちに秘めた黒い部分が露わになったりと展開がとにかく絢子にとってすごく辛い流れになっていくかもしれませんし、その部分を噛み締めながら見るとより絢子のことを応援したい気持ちが強まります。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』16話 ～20話	絢子に味方ができたようで、ほっとしました。というのも、高杉家では絢子は完全にアウェーの立場だったからです。特に同年代の女性使用人たちからすると、なぜ絢子を選ばれるの妬みを感じたのではないのでしょうか。さらに言えば、絢子は使用人時代に嫌がらせを受けていたのです。良好な関係を築くのは難しいと思っていました。それだけに華の存在は大きく、上手くやっていけそうで安心しました。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』21話 ～25話	本当にこの物語は登場人物たちが嫌な人ばかりで嫌になりますね。ですが、そのことがきっかけとなり主人公である絢子の魅力が増大していくのである種結果オーライですね。作中での、莉津子さんの存在もこの作品のストーリーをより面白いものに昇華させてくれているように思うので俄然目離せません。自分の言動によって想定外の展開になる流れはかなり笑えます。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』21話 ～25話	そもそも少し怪しいとは思っていたんですよね。3億円も借金があるのに、なぜ使用人の仕事を紹介するのか。使用人では明らかにこの額は返済できませんから。気が沈んでいて判断能力が鈍っている絢子を狙ったとしか思えません。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』21話 ～25話	莉津子は本作で唯一の良心だと思っていました。だからこそ、この展開は驚きです。とはいえ、莉津子の気持ちも理解できなくはありません。行く当てのなかった絢子を救えるだけでなく、莉津子にも雄一郎に会えるというメリットがありました。まさに一石二鳥の素晴らしい案と言えるでしょう。しかし蓋を開けてみたら、最悪の事態になっていたのです。嫌味の一つも言いたくなるだろうと感じました。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』26話	莉津子の納得していない様子が印象的でした。聡明な莉津子のことです。冷静な状態であれば、自分が悪いことをしたと十分に理解できたでしょう。でも今は、絢子のことを自分の想い人を奪った憎い女としか思えないのでしょうか。悪いことをしたとは全く思っていないようですし、残念な女性だなんて感じました。ただ、今回の一件は絢子の心に大きな傷を与えたように思います。雄一郎から優しく接してもらえていただけに、ショックは大きなものになったのではないのでしょうか。このダメージから立ち直れるのか、注目したいです。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』26話 ～28話	絢子が元気になってよかったです。というか、第一話から今までで一番生き生きとしていたのではないのでしょうか。放心状態から戻ってくる事ができて何よりです。気になるのは、絢子の作っている贈り物が雄一郎に伝わるかどうかです。絢子も歪な人生を送ってきましたが、雄一郎もなかなかのもの。過去の体験からお金が愛情の指標になっているだけに、気持ちが伝わるか不安に感じました。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』29話	絢子の初々しい感じがとても良いですね。絢子は普段心中を表に出そうとしていないだけに、この反応はなかなか見られません。こういう笑顔も出来るんだなとほっこりしましたし、そんな絢子だからこそ雄一郎も笑顔になってしまったのだと思います。気になったのは絢子が既視感を覚えたことです。気のせいなのか、過去に会ったことがあるのか。実際のところどうなのか知りたくまりました。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』30話	やっと二人の心が通じ合ったように思えました。絢子は自分の感情を表に出すのが苦手で、それが二人の関係をぎこちなくしていたんです。でも、絢子が本当の気持ちを伝えられたことで、ようやく夫婦らしい関係になれたのではないかと感じました。気になったのは、雄一郎が絢子の縫った刺繍を見ていた場面です。プレゼントをもらえたこと自体嬉しいことだとは思いますが、それだけではないように思えます。この刺繍を見て雄一郎は何を感じたのか、知りたくまりました。
『かりそめの契り ～後家の花嫁は 愛される～』31話	ここにきて、まだ実家が崇めているのかと衝撃を受けました。絢子は実家で酷い扱いを受けていましたが、今は雄一郎のおかげで幸せに暮らしています。これで絢子も幸せになれるそうだと感じていただけに、このショックは強烈でした。本郷の元へ嫁いでいなかったら、このフラッシュバックはな

	<p>かったわけですから。実家に対する怒りが沸々とわいてきました。</p>
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』32話～33話	<p>絢子と華の会話シーンが楽しめました。まるで現代のガールズトークみたいだったとでもいいでしょうか。そして、その二人の会話を聞いてしまっていた雄一郎の反応も可愛くて良かったです。一方、絢子が母に対し、どのように対応するのか気になりました。雄一郎は絢子の味方になって話を詰めてくれています。でも絢子が母の言いなりになってしまえば、話はまとまりません。母の呪縛に打ち勝って、自分の意志を伝えることが出来るのかどうか注目したいです。</p>
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』34話	<p>絢子が母に対してビシッと書いて、ホッとしました。絢子が絢子らしくなってきたところで、母の登場です。また元の絢子に戻ってしまうのかと心配しました。それだけに、母に対してビシッと書いたことがすごく嬉しかったです。一方、絢子の母が気がかりです。あの場では、何も言えずにいました。でも、納得したというよりも、咄嗟のことで言い返せなかったという感じが強いんですよね。帰宅した頃には冷静さを取り戻しているでしょうし、絢子に対して仕返し的なものを考えているかもしれません。大人しく引き下がるような人ではないと思うので、絢子の母が今後どう動くのか注目したいです。</p>
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』35話	<p>絢子の変化が微笑ましいですね。まだ雄一郎と夜の夫婦生活は送っていませんけど、時間の問題ではないでしょうか。この調子だと本郷から植え付けられたトラウマも払拭できそうですし、はやく結ばれて欲しいものです。一方で、雄一郎も気になります。愛する雄一郎とお出掛けということで、絢子は普段以上に身なりを意識して整えてきました。その姿が雄一郎にどのような影響を与えるのか注目したいです。</p>
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』36話	<p>今回のデートは二人に良い影響を与えたように思います。特に、雄一郎の心には強く響いたのではないのでしょうか。というのも、雄一郎は絢子の姿を見た瞬間、見惚れている様子がかがえしました。また、デートの終わり際には絢子の内面の美しさも感じ取れたように思います。雄一郎は所用を思い出したといって離れましたけど、絢子のために何かしてあげようとしているのは明白です。二人の関係はさらに深まったように感じられ、心が温まりました。</p>
『かりそめの契り～後家の花嫁は愛される～』37話～38話	<p>二人が結ばれて良かったです。本郷によって植え付けられたトラウマにより、絢子はずっと雄一郎を受け入れられないのではと心配していました。今ならカウンセリングとかもあるでしょうけど、この時代ならそういうものはありませんし。それだけに、二人が本当の意味での夫婦になれたことは喜ばしいです。あとは、これがずっと続くかどうかですね。今回は雄一郎を受け入れることができましたけど、ずっとそうであるとは限りません。それほど本郷から植え付けられたトラウマは深刻なものでしたから。これからの二人の様子に注目したいと思います。</p>

## 漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス